

淀川水系流域委員会 第105回運営会議(2009.6.15開催)結果報告		2009.6.22 庶務発信
開催日時	2009年6月15日(月)11:00~12:00	
場 所	大阪合同庁舎第1別館 2F 第3会議室	
参加者数	委員長、副委員長:3名、河川管理者:3名、一般傍聴者:9名(報道機関含む)	
<p>1. 決定事項</p> <p>今後の会議開催について</p> <p>第86回委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:6月30日(火)13:30~16:00 場所:淀川管内河川レンジャー中央流域センター 2F 多目的ホール 審議事項:1)次期委員会について 2)「淀川水系河川整備計画の計画内容の進捗点検」への委員会意見とりまとめについて <p>第87回委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:7月28日(火)午後 <p>第106回運営会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:7月10日(金)16:00~ 今後の会議開催について <p>現地視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地視察における委員謝金の算出基準等については従来のルール(#41委員会審議資料3)を適用する。 一般の方が現地視察へ参加する上での注意点を委員会ホームページに掲載する。 委員長からの要請として、途中でも参加が可能かどうか欠席委員に再度庶務より連絡を行う。 <p>2. 報告の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。 <p>3. 審議:主な内容は以下の通り(例示)</p> <p>今後の会議開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会の開催可能回数は契約と同じ全5回(実施済2回)であるが、作業検討会は契約上5回分の予算に対し、開催予定数20回(実施済2回)とかなり開きがある状況である(委員長)。 正式に作業検討会を開催する場合、会場費とともに庶務経費が発生してしまうことも考えていただく必要がある(河川管理者)。 いくつかのグループを同じ日に行う等の工夫は考えられる。 委員間で意見交換を行う段階では、庶務に動いてもらう必要もないと思う。まずはある程度委員だけで内容を詰めて、たたき台ができた段階で庶務に入ってもらえる等の対応ができないか。 意見とりまとめは委員会活動であるため、きちんと委員会活動のルールに則ってやって頂きたいが、予算の都合上、過去行ったように委員会側で会議の開催を調整していただく等の方法も考えられる(河川管理者)。 可能な限り発注者の趣旨に沿うようにしたいが、意見とりまとめは重要な作業であるため多少の予算の幅はもたせてほしい。 現時点では、庶務対応や謝金支給なしの検討会開催も含めて柔軟な対応をするということにする。最終的には各グループの日程調整状況を踏まえて正式に委員長から委員へお知らせしたい(委員長)。 6月30日と7月28日の委員会開催は決定とする。8月3日も開催の方向で日程を調整する(委員長)。 進捗点検への意見には、次期委員会への引継ぎを踏まえた積み残しの議論もでてくると考えられる。 7月28日の委員会開催のために運営会議の開催が必要であるため、日程調整を行いたい(委員長)。 各グループの作業を踏まえると、7月上旬の開催が良いのではないか。 <p>現地視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点で参加できる委員数が少ないため、例えば時間を区切った参加が可能かどうか再度委員へ聞いてみてはどうか。これは委員長からの要請としてお願いしたい。 現地視察への一般の参加は可能か(委員長)。 一般の方が一緒に視察できる場所もあるが、管理上できない場所もある。(河川管理者)。 自由に参加できるとしてやってくる一般の方への対応として、現地視察に参加する場合の注意点をホームページで公開しておいてはどうか(委員長)。 現地視察に関する謝金は従来のルールの範囲以内で考えていただきたい(河川管理者)。 移動時間は会議をしているわけでもないため、2時間で区切ってはどうか。 <p>1日拘束するという意味では、従来のルールを適用するというでいいと思う(委員長) 以上</p>		
運営会議の結果報告は、主な決定事項等の会議結果をお知らせするために庶務から発信させて頂くものです。		